

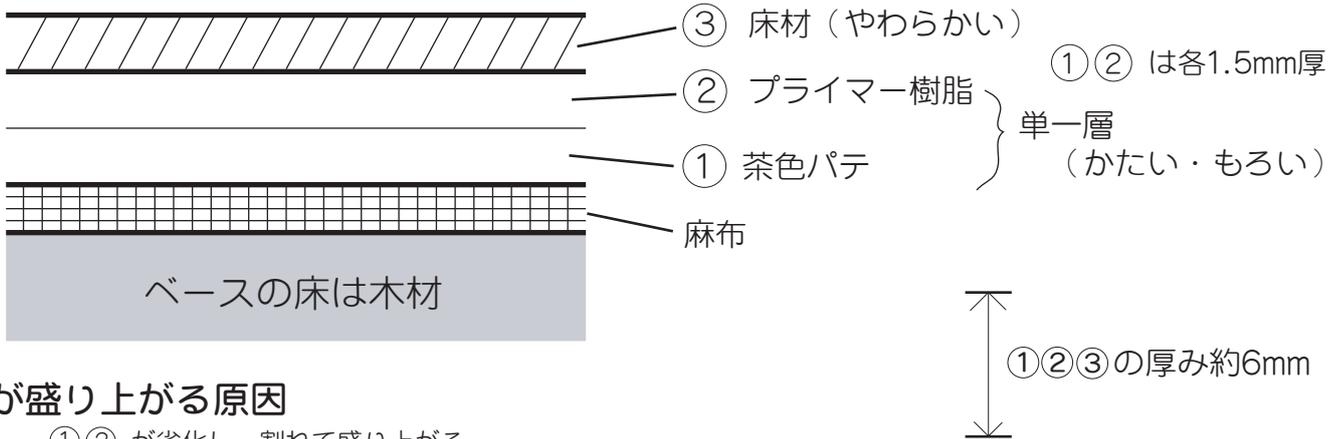
床補修作業について (2002年4月21日)

場所 家山駅構内

目的 各客車床補修作業方法の調査

床部分が盛り上がり、割れている箇所を補修する→調査の結果、今回は特に痛みにひどいスハフ43-2のみ行う

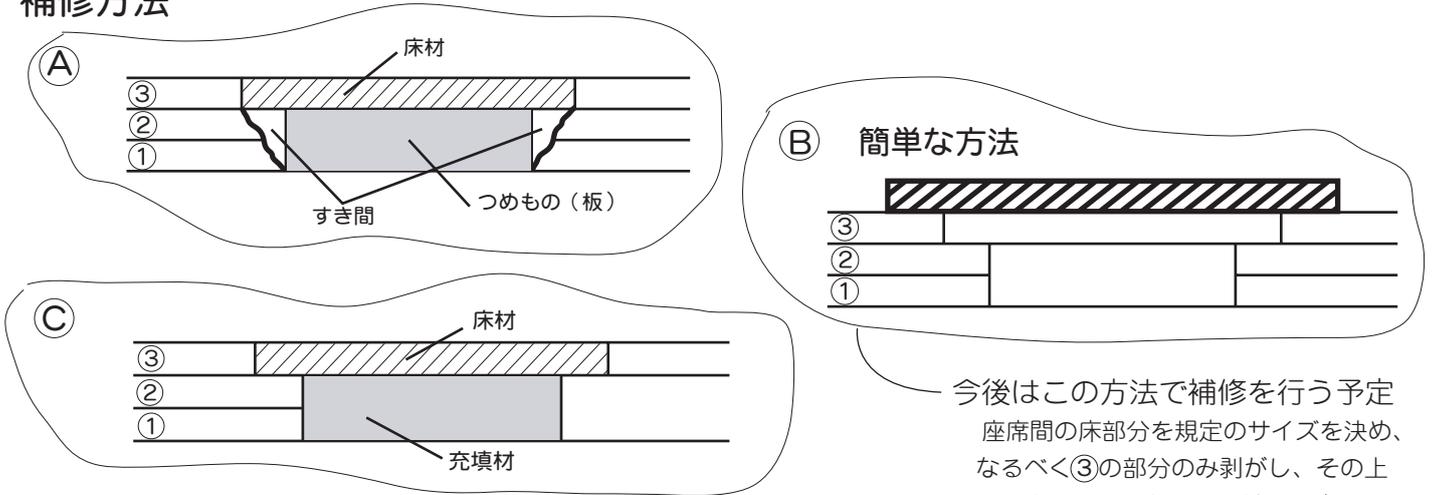
床の層構成



床が盛り上がる原因

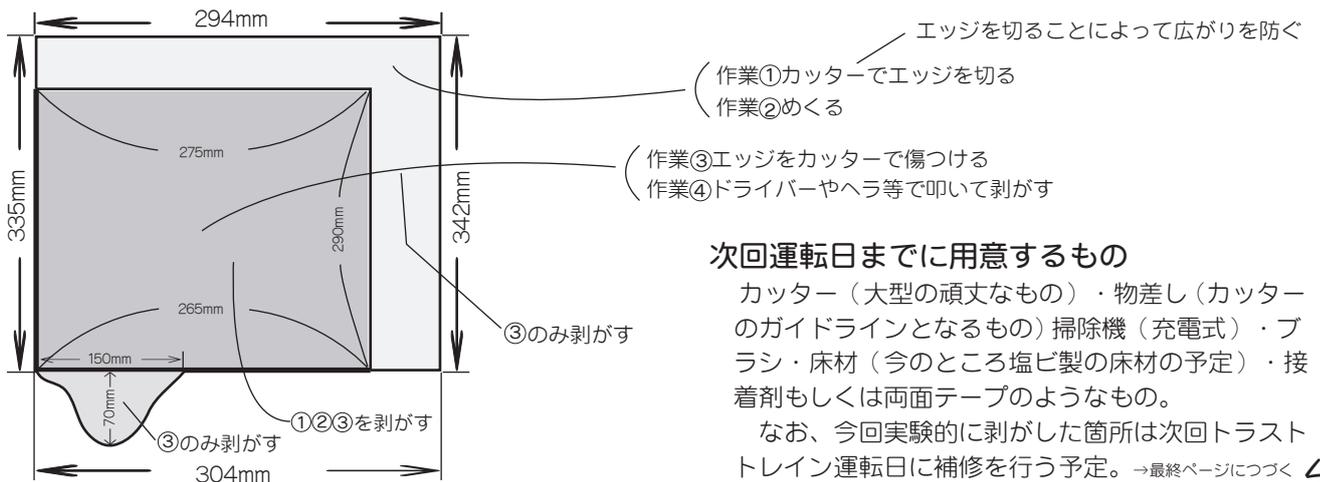
①②が劣化し、割れて盛り上がる

補修方法



今後はこの方法で補修を行う予定
 座席間の床部分を規定のサイズを決め、なるべく③の部分のみ剥がし、その上から塩ビのようなものを被せ固定する。
 通路に関しては別の材質のものを使用することも考えられる。

方法Aで作業を行った



次回運転日までに用意するもの

カッター (大型の頑丈なもの) ・ 物差し (カッターのガイドラインとなるもの) 掃除機 (充電式) ・ ブラシ ・ 床材 (今のところ塩ビ製の床材の予定) ・ 接着剤もしくは両面テープのようなもの。

なお、今回実験的に剥がした箇所は次回トラストトレイン運転日に補修を行う予定。→最終ページにつづく 4